



PwC Japan有限責任監査法人 新卒採用のご案内



PwC Japanグループの紹介

■ Our Purpose

To build trust in society and solve important problems

社会における信頼を構築し、重要な課題を解決する

私たちの定めるPurposeは、世界情勢やビジネス環境が大きく変化し続ける中、複雑な課題に対してPwCが重要な決定を下すにあたってよりどころとしているものであり、また世界各国のPwCと連携をするうえでも重要な役割を果たしています。

■ Our Values

PwCの各職員は、それぞれ異なる背景や文化を持っていますが、Values(価値観)は共通しています。以下の5つのValuesは、私たちがPurposeの実現に努めるコンテキストを定めています。



Act with integrity



Make a difference



Care



Work together



Reimagine the possible

PwC Professional

■ Our Behaviours | Evolved PwC Professional

私たちは、Purpose(存在意義)やStrategy(ビジネス戦略)、Values(価値観)を体現する行動を、Evolved PwC Professionalとして定義しています。

Trusted Leadership(信頼し、信頼されるリーダーシップ)とDistinctive Outcomes(比類なき成果)は、毎日の一つひとつの行動の中で私たちが信じるべき価値観を体現し、クライアントに価値を届け、PurposeやStrategyをいかに実現するかを示しています。Trusted LeadershipとDistinctive Outcomesを体現することで、私たちはよりよい未来を創造できるのです。



Our Purpose
To build trust in
society and solve
important problems

Our Values
Act with integrity
Make a difference
Care
Work together
Reimagine the possible

■ Facts and Figures

PwC Japanは、世界136カ国のPwCメンバーファームとともに、質の高いプロフェッショナルサービスの提供を通じて、Purposeの実現を追求しています。



136
Countries



364,782
People^{*1}



569億米ドル
Revenue^{*2}

^{*1} PwCとは、プライスウォーターハウスクーパース・インターナショナル・リミテッドのメンバーファームによって構成されたネットワークを意味し、各メンバーファームはそれぞれ独立した法人です。

^{*2} 2025年6月30日現在(サポートスタッフ含む)

^{*3} FY25の収益はPwC全ファームの合計収益で、FY25の為替レートの平均で換算し、米ドルで表示しています。FY24の合計収益はFY24の為替レートの平均で表示しています。収益にはクライアントに請求した経費も含まれます。会計年度は6月30日終了です。

- Our People & Culture

13,500人

多様な専門性を持つプロフェッショナルの採用をより強化するとともに、誰もが強みを発揮できるインクルーシブなカルチャーと、より柔軟な働き方ができる環境づくりを大切にしています。

女性比率

平均年齢

入社3年未満

外国籍スタッフ

37 %

36 歳

43 %

人員 **828** 名

出身国 **35** 力国



2030年までの目標

女性管理職比率
30 %

各職階における
Proportionality of promotions^{*1}
100 %

男性育休取得率
100 %

男性育休平均取得週数(土日除く)
10 週間以上

2025年の実績

女性管理職比率
24.6 %

非管理職から管理職への昇進における
Proportionality of promotions
81 %

男性育休取得率
93 %

男性育休平均取得週数(土日除く)
6.4 週間以上

私たちは、ビジネスを通じて社会の課題解決や企業の変革を支援することはもとより、コミュニティ活動や環境への取り組み、積極的な政策提言といった活動を通じて、社会全体にポジティブなインパクトをもたらすことを目指しています。

環境への取り組み

コミュニティへの支援

持続可能な責任ある
ビジネス

コレクティブインパクト
の創出

PwC Japan有限責任監査法人の紹介

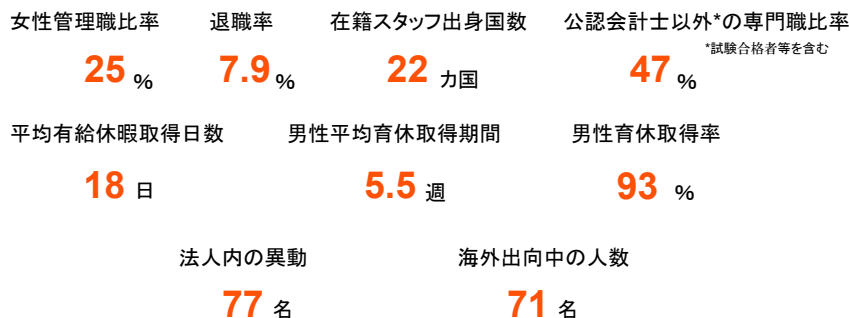
■ PwC Japan有限責任監査法人とは

PwC Japan有限責任監査法人は、日本で「監査および保証業務」、非監査業務である「ブローダーアシュアランスサービス」を提供する、PwCグローバルネットワークのメンバーファームです。

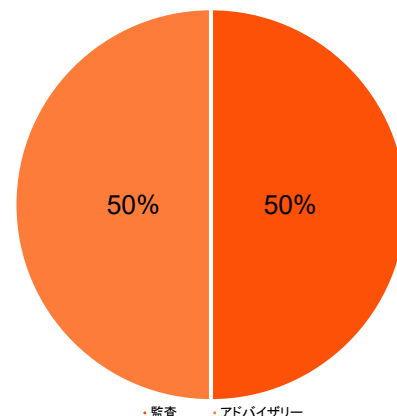
世界で長年にわたる監査実績を持つPwCネットワークの監査手法と最新技術により世界水準の高品質な監査業務を提供するとともに、その知見を活用した会計、内部統制、ガバナンス、サイバーセキュリティ、規制対応、デジタル化対応、株式公開など幅広い分野に関する助言を通じて社会の重要な課題解決を支援しています。

PwCビジネスアシュアランス合同会社、PwCサステナビリティ合同会社、PwCリスクアドバイザー合同会社、PwC総合研究所合同会社とともに、信頼されるプロフェッショナルとして、日本の未来にあらたな信頼をもたらすことを、Assurance Vision 2030として掲げています。

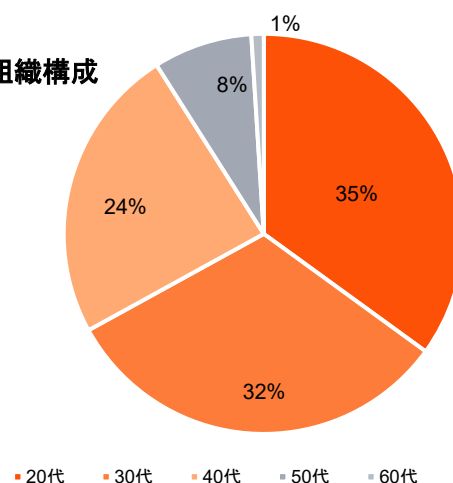
■ PwC Japan有限責任監査法人を理解するための数字 *2026年1月時点



売上割合



組織構成



■ Working at PwC Japan有限責任監査法人

Why PwC? ～PwCへの決め手～



Aさん

- ・グローバルネットワークを活用し、国内外の幅広いプロジェクトに関わることができるため、専門領域で社会的影響力のある業務に関わりたいという自分の希望が叶う環境が整っていると考えたため。
- ・入社前も自分をサポートをし続けてくれる手厚さ、懇親会などで話した社員から感じる優しさ、また入社前に関わった人たちが皆自分らしく楽しく働いていると感じたため。

My work at PwC ～どんな仕事をしている？～

- ・セキュリティ評価：海外クライアントを担当。時差を考慮してリモートでミーティングを実施。クライアント資料の読解・評価は専門領域の英語が身に付きやりがいがある。
- ・海外メンバーファームとの協働：PwCの海外メンバーファームとの共同プロジェクトで、日本のクライアントの監査・評価業務をしている。メールやミーティング等のコミュニケーション、資料などはすべて英語を使用している。



Bさん

■ 新卒採用について

PwC Japan有限責任監査法人では、職種別・部門別の新卒採用を実施しており、学部・学科や資格の有無を問わず、一人一人が興味のある専門性やキャリアを追求できる環境を整えています。募集職種詳細は、次のページをご確認ください。なお、PwC Japanグループ内の全職種について併願可能ですが、WEB適性検査の受検は採用年度につき1回のみ可能です。ご注意ください。

PwC Japan有限責任監査法人 募集職種一覧

選考フロー詳細や締切、説明会などのイベント情報については、PwC Japan有限責任監査法人の採用サイトまたはマイページをご確認ください。皆様のご応募をお待ちしております。

公認会計士キャリアチャレンジ採用

会計知識の有無は問わず、ゼロから公認会計士としてのキャリアに挑戦できるプログラムです。内定時からPwCの学習サポートを活用して試験勉強に専念でき、資格取得後はそのまま監査スキルを軸とした専門性を深め、投資家・企業・社会全体が安心して経済活動を行うための“信頼のインフラ”を支える業務に従事できます。

デジタルリスクコンサルタント職(RA)

「経営×リスク」のプロフェッショナルとして、幅広いクライアントに対してリスクアプローチベースでのコンサルティングを提供しています。デジタル領域から地方創生などの社会課題解決まで、幅広い領域に関わりながらマルチプロフェッショナルとして自身の専門性を磨くことができます。

経営管理コンサルタント職(GRC)

ガバナンス・リスク・コンプライアンスに関する高い専門性をベースに企業の信頼を守るプロフェッショナルとして、日本を代表するグローバル企業や金融機関に対し、企業の経営管理体制を構築するサービスを提供しています。

リスク戦略コンサルタント職(GRC)

金融工学やデータ分析などに関する知識を活用し、国内外の主要クライアントに対してリスク管理をはじめ、経営に関するさまざまなコンサルティングサービスを提供しています。

財務報告アドバイザー職(FRA)

財務会計・内部統制のプロフェッショナルとして、日本基準・IFRS・US基準を対象に、M&AやIPOを含む幅広い会計アドバイスを提供しています。また会計のAI・デジタル活用の対応も行っています。

※内定～入社後2年以内にUSCPA(米国公認会計士)等全科目合格必須です(サポート制度あり)。

サステナビリティコンサルタント職(ASUS)

企業のサステナビリティ情報開示を土台とした経営改革(Reporting to Transformation)をコアコンピタンスとして掲げ、企業経営の重要アジェンダである「サステナビリティ」を軸に、経営者の伴走者として、環境価値・社会価値と経済価値の両立を支援しています。

アクチュアリー職(AS)

保険会社を中心に大企業や公的機関に対して、伝統的な保険数理業務の他、データ分析、モデリング、IFRS導入支援など多種多様なサービスを提供しています。



@PwC_asr_career

no+e



採用公式note